

# No.172

# 坂東地域アグリ通信



<<<HPはこちらへアクセス！

令和元年10月18日

坂東地域農業改良普及センター 発行

Tel: 0297-34-2134 Fax: 0297-34-3291

## 坂東地域アグリセミナー第4回「土づくり講座」を開催



9月13日、坂東地域アグリセミナー第4回「土づくり講座」を開催し、管内の新規就農者10名が参加しました。

まず、普及センターから①土づくりの基礎、②堆肥の使い方について、③土壌診断の活用法について、の3つのテーマで講義を行い、土壌の役割や家畜ふん堆肥の特徴、土壌診断結果の見方等を説明しました。

講義後は「私のほ場の土づくり」のテーマで班に分かれてグループワークを行い、自分のほ場で使用している堆肥や緑肥について意見を交わしました。

良い土づくりのためには、土壌や肥料の特徴をよく知り、定期的な土壌診断を行う必要があります。

普及センターでは、今後もアグリセミナーを通して新規就農者を支援していくとともに、月2回の土壌診断で適切な土づくりの提案を行っていきます。



## 令和元年度「ゆめかおり」栽培講習会を開催

坂東市、境町、古河市、常総市の8名の生産者が、「茨城パン小麦栽培研究会」を組織し、パン用小麦「ゆめかおり」の生産に取り組んでいます。

当研究会は、実需者が求める品質の小麦を生産することを目標に、タンパク質含有率にこだわった生産販売を行っており、製粉会社から高い評価を受けています。令和2年産からは3名の新規生産者を迎え、生産規模を増やし、増え続ける需要に対応することになりました。



そこで、規模を拡大しても品質が維持されるよう、9月25日に、令和2年産に向けた栽培講習会を開催しました。普及センターからは、タンパク質含有率を高めるための栽培ポイントについて、県農業研究所からは、土壌特性に応じた栽培方法や土づくり等について説明を行いました。

普及センターでは、今後も関係機関と連携を図りながら、「ゆめかおり」の産地拡大を支援していきます。



## 「さかい4Hクラブ」が食育活動を行いました

9月22日、境町の「さかい4Hクラブ」が食育活動として、境町の小学生「さかい元気っ子クラブ」110名とトウモロコシ収穫体験を行いました。

クラブ員からは、トウモロコシの収穫方法の説明や、トラクタを使った片付け作業を実演しました。

児童たちは6月に種まきしたトウモロコシを競うように元気よく収穫し、皮を剥きながら「美味しそう!」、「虫がいる!」と農作業を楽しんでいました。



午後は収穫したトウモロコシやクラブ員が提供した野菜などをバーベキューしながら味わい、クラブ員との交流を深めました。

「さかい元気っ子クラブ」への食育活動は今年が初めてでしたが、境町の農業や生産者の魅力が伝わるイベントとなりました。

普及センターでは、今後も後継者クラブの活動支援を通じて、農業の魅力を発信していきます。



## ⚠️ レタス黒根病にご注意ください! ⚠️

平成30年10月、県西地域の露地レタスほ場において、レタス黒根病が確認されています。

### 病徴

- 地上部では外葉の黄化、生育が遅延し、症状が進むと結球しないなどの生育不良となる。
- 根部の症状は、根の一部が帯状に黒変、隆起して根表面に亀裂を生じる。病徴が進行すると、根全体が黒変し、細根が腐敗脱落する。

### ポイント

- 被害は8月定植、10月収穫の秋レタスで最も発生しやすくなる。
- 根部の症状は、ネグサレセンチュウの被害痕と類似し、判断が難しい。

### 防除対策

- 連作により土壤中の病原菌密度が高まるため、過度な連作を避ける。
- 本病発生ほ場での作業は最後になるよう計画し、作業終了時には農機具類、長靴等は丁寧に洗浄する。

### お願い

- 収穫が終わりましたら、必ず根を確認してください。
- 上記のような症状がありましたら、普及センターまでご連絡下さい。



## 11月 土壌診断実施日のお知らせ

▶ 11月 6日(水) ▶ 11月13日(水)

▶ 11月27日(水) を予定しております。

- ・個人の農家の方が対象です。
- ・受け付けは先着順となりますので、お早めにお持ちください。電話等での予約は行っておりません。
- ・1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- ・1人あたり5点以内の持ち込みでお願いします。

## 編集後記

管内の多くの畑がネギからレタスに変わってきました。緑、黄緑、赤等々・・・色とりどりでインスタ映える景色だなと思いました。また今月のハロウィン等、これから秋冬のイベントが始まり、飾りで街が彩られるのも楽しみです。(札)